

君津市学校再編第1次実施プログラム（案）について、書面等でいただいた意見

以下の意見は、8月1日から31日までに書面等でいただいた意見の概要をまとめたものです。

- ・取りまとめ上、趣旨を損なわない範囲で意見を要約させていただきました。
- ・複数の理由から意見が述べられている場合は、意見概要を分けて掲載しています。
- ・同様の項目に関しては、まとめて掲載しています。

統合に関すること	
意見の概要	市の見解
統合に対するイメージは悪くないと思った。清和地区に小学校が残ること、中学校で新しい環境で学べることの2点は良い。期間が短い、最短を考えたなら納得した。	
学区は広範囲となるが、学校の統合の案は良いと思う。少人数の学級や男女比のバランスにも偏りがあるので、早めの統合にありがたく思う。色々な細かな問題点があるので、1つずつ解消していただきたい。	学校教育においては、一定規模の集団の中で、学び合い、認め合い、切磋琢磨できることが重要だと考えておりますが、地域の実情にも配慮して作成しました。
統合は、小糸小・秋元小・三島小、3校の組合せの方が適正だと思う。小糸から清和中校舎が遠ければ、秋元小校舎でも良い。また、秋元・三島の統合では10年足らずで再統合になってしまう。	小学校では、規模は小さくても地域に根付いて教育を行い、中学校では教育活動の多様性を考えたものです。
地域に1つは学校を、地域の中心に残してほしい。	
複式学級の解消も大事かもしれないが、統合の範囲が広い。もう少し地区を減らしてほしい。通学範囲があまりにも亀山から遠い。	
児童の精神面について、南房総の統合により前年度等から交流をしていたと聞き、そういう行事も必要であることを感じた。また、子どもたちの慣れも早かったと聞き、安心した。やはり多くの人との関わりは必要だと思う。	統合後の児童生徒がよりよい学校生活を過ごせるように、統合前から交流を行うなどして、準備していきます。
中学校の統廃合については、小櫃中に4校統合して、教育環境を確保し健全な教育環境で、社会のニーズに適合した若者を育成し、それを育む、地域も活性化させていくという案ならば賛成だ。	
地域に学校がなくなれば、人口減少はもっと進むと思う。示された案はあまりに消極的で時期尚早ではと思った。人口増と合わせ、また、財源の問題ではないならば、松丘と坂畑、久留里と小櫃の統合で段階を追うのが妥当だと思う。まだ地域に人を戻せる余力を残してほしい。	教育環境を充実させることは、これからの地域・社会を担う人材の育成になるとともに、地域の活性化にも資するものと考えています。
当地区で児童の姿が見られなくなって、亀山地区内小学生50名、中学生20名とは本当に淋しい限りである。地元には、地域の過疎化を止めないと本当の意味での解決にはならない。子どもたちの教育に経済性効率化を行政は優先するべきではないと思う。	
分校扱いとして小学校低学年ではやれないだろうか。現に袖ヶ浦では行っている。	分校は、現在よりもさらに規模が小さくなるだけでなく、管理職や養護教諭などの教員配置にも課題があります。
今回の統合は、坂畑小学校と松丘小学校、久留里小学校と小櫃小学校の2段階方式とし、利用する小学校は坂畑小学校を利用することとする。坂畑小学校は、松丘小学校に比べて、建設時期が新しく、斬新な建築デザインによる、斬新な山間部小学校となっているので、是非この建物を継続して有効活用していきたい。その後、地域活性化の努力も空しく小学生の人数確保が難しくなったおりには、小櫃小学校との統合を図るという2段階方式を提案する。	段階的に行うことも検討しましたが、計画年度内に再統合が必要となる可能性もあり、子どもたちにとって負担が大きいと考えました。

<p>小学校の統廃合については、第1次実施プログラム（案）には、反対だ。理由としては、統合による通学距離が遠くなりすぎるからだ。伝統ある、松丘小学校と同じく伝統のある坂畑小学校も同時に廃校となってしまうことは、そこに暮らす人々に大きな喪失感を与え、山間部の生活を存続していこうという意欲まで失わせてしまうのではないかと危惧する。</p>	<p>通学への負担を配慮し、スクールバスの運行を工夫するなどして対応してまいります。</p>
<p>個人の意見としては、再編は賛成だ。子どものこれからの事を考えたら仕方ない事だと思う。いつかはこうなるだろうと思っていた。規模が大きいからとか小さいからとかで個性がなくなるわけではないと思う。子どもたちの育った環境、周囲の大人仲間の影響等で1人の人間としての個性も生まれてくるのではないかと。子どもたちの未来に向け、よりよい方向へと進んでいけたらと思う。</p>	<p>基本計画では、市内全ての学校が適正規模を満たすことを目指しておりますが、児童生徒の発達段階、地域の実情に配慮し、今回のプログラムを作成しました。</p>
<p>小櫃小学校も、この際一緒に再編したらよい。あとから再々編は今より大変かと思う。</p>	
<p>中学校の校舎を小学校として使用することの無理、久留里中学校の敷地が校舎と運動場の位置の悪さはいかんともし難いと思う。</p>	<p>児童生徒の体格差、教育活動の充実という面から、必要な改修を行います。</p>
<p>私は、3校統合後の使用する小学校は亀山を提案する。現、坂畑小学校、亀山中学校を統合後の小学校として使用する。亀山の自然環境の豊かさは何ものにかえがたいく、自然豊かさを活用する、特色ある小学校作りが出来ると思う。小学校を置くことで一定の歯止めにはなると思っています。学校統合という単独施策ではなく、行政の総合的視野に立っての町づくりと考えます。</p>	<p>使用校舎については、教室数やバスの進入、教育活動の展開など総合的に勘案し判断をしたものです。</p>
<p>学校再編について、私は基本的に大賛成だ。鹿野山小が秋元小へ合併の時、鹿野山小の地域の方々は地区の文化が無くなると反対したが、児童を持つ父母は多数の児童の中で勉強運動をさせたいと強い要望の中で実現した。</p>	<p>学校教育においては、一定規模の集団の中で、学び合い、認め合い、切磋琢磨できることが重要だと考えております。</p>
<p>過疎化が進む場所だからこそ、学校が必要。清和中はそのまま残し、秋元・三島は統合し、どちらかの校舎を使用すれば良い。そして、上総地区も久留里線の終点だからこそ亀山の小中を残し、松丘と統合することを望む。地域との結びつきも必要である。</p>	<p>統合においては、これまでの地域文化の継承についても視野に入れ、取り組んでまいります。</p>
<p>(案)のペースは早すぎる。ゆっくり進めていってほしい。</p>	<p>学校の小規模化は深刻な状況であり、複式学級も今後増えていくことが予測されています。</p>
<p>小・中学校の統合は、できるものならば松丘と亀山の統合を望む。もしこれがかなわぬものならば、旧上総地区の統合を希望する。</p>	<p>発達段階を考慮し、適正規模を満たしませんが小学校は上総地域に残し、中学校は適正規模の中で、多様な教育活動を展開できることを考えました。</p>
<p>自分達は引っ越しができないので市の方で再編してスクールバスも用意してくれて子どものことを考えてくれるのは、本当にありがたいです。いろいろな意見は本当に仕方がないが、人が増えないので統合はしょうがない。私は遅いくらいだと思う。</p>	<p>スクールバスの運用、教育課程の編成など統合に向けてしっかりと準備を行い、子どもたちにとってよりよい環境を提供してまいります。</p>
<p>小糸中、清和中の統合には賛成だ。ただ、在学中の保護者の方は、子どもも親も心の準備をする期間が短いと言っている。説明会で、君津市内の過去の統合、合併の事が年表で出ていたが、その時は決定から実施までの期間等はどうかだったのか。</p>	<p>蔵玉小学校の場合ですが、平成21年10月に地域から要望をいただき、平成22年1月に検討委員会が設置されました。平成23年の4月から、坂畑小学校へ統合されております。決定から実施までは、概ね1年程度となっております。</p>
<p>私は、このプログラムに反対だ。地区のふれあい、つきあい、どうなるのか。子どもたちについては、急に多人数のところになって、大人や先生方はどうケアをすればいいのか。</p>	<p>地域の核として小学校を地域に残すこととしました。今回の統合は、クラス替えができる適正な規模にするものであり、決してかつてのような大規模校を目指すものではありません。子どもたちのケアについては、スクールカウンセラーなど専門的職員の配置も含め、適切に対応してまいります。</p>

<p>三島小に子どもたちを通わせたいという強い思いで、子どもたちを連れて一大決心で君津市に移住した。当時の三島小は都会にはない自然環境が魅力であった。もしも学校がなくなってしまうたら、過疎化がどんどん進み人のいない場所になってしまうのではないかと心配がある。</p> <p>現在秋元小、三島小ともに複式学級となっている中で、子どもたちの事を考えると、両校が合併して、複式学級が解消されるのは良い事だと思う。ただ合併の時期については、3年後というの少し早い気がする。</p> <p>また、できれば清和中学校も残してほしいと思うが、年々生徒数が減少していく中で、部活の種類が少ないなど、生徒達が本当に清和中に通いたいと思えるかどうか、私達にはわからない部分もあり悩んでいる。</p>	<p>小学校は統合しても適正規模にはなりません、地域の核として残すことにしました。</p> <p>また、複式学級は、今後さらに増えることが見込まれており、対応は急がれると考えます。</p> <p>中学校の統合については、ご指摘のとおり発達段階に応じた教育環境の充実を図るために行うものです。</p>
<p>秋元小と三島小の統合は賛成だ。</p> <p>案はあまりに広範囲で、反対だ。文科省の通達でも、統合するとしても「通学距離・時間が子どもたちの心身、安全、学校の教育活動に与える影響を十分検討して無理のないように配慮すること」とある。</p> <p>文科省も統合については、「学校の持つ地域的意義を考慮すること」とあります。統合は松丘小と坂畑小、松丘中と亀山中の統合よい。(中学校は久留里中も入れる案も考えられますが)。清和地区では三島小と秋元小の統合案であり、松丘小+坂畑小より児童数は少ないのになぜか。</p>	<p>児童生徒数の状況、本市の地理的状況、そして地域の実情にも配慮して作成しました。</p> <p>通学への負担を配慮し、スクールバスの運行を工夫するなどして対応してまいります。</p>
<p>中央教育審議会でも2008年7月に「教育的観点から望ましい学校規模」の検討は行われているようですが、翌年3月には中断し、そのままになっている。WHOは、「学校規模と教育効果」について研究をまとめを発表していますが、その中の②で『教育機関は小さくなくてはならない—カーティス報告が提案した生徒100人を上回らない規模—という点で意見が一致している』と述べている。本(案)ではメリット・デメリット双方を考えてもあまりにデメリットが大きい。いじめや不登校問題など子どもの人権や学ぶ権利の問題にきめ細かく対応しようと思ったら、どちらにメリットデメリットがあるかは言うに及ばない。自分は何が何でも統合反対という立場ではない。中学校などは松丘中との統合も近い将来必要だろうと思っている。でも小学校は1、2年生が複式になれば、その時までには単独でやっていけると思う。統合するにしても坂畑小はせめて松丘小との統合で長くやっていけるのではないか。</p>	<p>今回の計画は、学校の大規模化を狙ったものではありません。少子化の影響から、あまりにも規模が小さくなる中で、子どもたちにとって、学び合い、認め合い、切磋琢磨できる環境を提供するという、教育的観点から考えています。</p> <p>いじめや不登校は学校規模に関わらず、取り組まなければならない課題であると認識しています。</p>
<p>山間地域に住む保育園児と小学生の保護者だが、会場では発言しづらかったのでメールした。1次プログラムはよく出来ていると思う。[統合]については、複式クラスや学年1クラスをなくすことは全く同感である。親の本音は児童数が少ない今の状態はとても心配だ。子どもの成長や学力、社会性を身につけさせるにはある程度の規模は絶対必要である。統廃合で学校がなくなると地域がさびれるから反対だと言う人がいたが、子どものことを本当に考えているのか。子どもを犠牲にしないで欲しい。田舎にいてもいい教育が受けられるようにしないと子育て世代は住まなくなる。また、部活がやれない小さい中学校では困る。中学生活の楽しみ一つはなんといっても部活だ。やりたい部活がないと、町に引っ越すか、私立の学校に行かなくてはならない。</p>	<p>本計画では、君津市のどこに住んでいても等しく、質の高い教育を受けることができることを目指したものです。</p> <p>発達段階、通学への負担、地域の実情などから、小学校はクラス替えができませんが、中学校では部活動も含め、多様な教育活動を可能にできることを考えています。</p>
<p>学校統合はやむを得ない。少子化、過疎化は肌で感じており、私が学生の頃も亀山地区の子ども数は君津市で最小だったが、現在はさらに少なくなった。あまりにも人数が少なければ学校運営をしていくのも大変だろうし、生徒たちも部活動や課外活動等で不自由が生じ、やりたくても出来ないことが多くなると思う。</p>	
<p>学校の統合は賛成です。子どもが集まって行事や集団生活を送れる機会が増えて良い。部活動も選択肢が増えるし、可能性を引き出すこともできると思う。</p>	

<p>小規模校の良さを生かそうとする市教委の姿勢が全くない。小規模校である松丘小中は、学力も運動面も大規模校より劣っていない。小規模だと思力やコミュニケーション能力が育たないというが、そんな事はない。教師の指導の仕方、教材の料理法でいくらでも高められる。</p>	<p>小規模校においても、そのよさを最大限に発揮し、子どもたちを育んできたことは十分認識しています。学校の先生方も、指導の方法を工夫し、よい面を伸ばし、課題を解消する手立てを行ってきています。</p> <p>しかし、学校ではある一定規模の集団の中で、子どもたち同士の中で学び合い、協力し合い、切磋琢磨していくことも必要であると考えています。現状では、あまりにも小規模化しているために、それらについて課題があると認識しています。</p>
<p>小規模校であってはならない、適正規模にする為の統合・再編に関する客観的根拠が全く見えず、かつ、小規模校の閉鎖に伴う問題点、地域に及ぼす影響などを考慮した対策までの提案も十分に取り入れる形での説明が必要だ。統計やはっきりした根拠を示してほしい。</p>	<p>本計画では、子どもたちにとってよりよい教育環境を目指すものです。学校規模の課題等については計画にあるように、教育活動の面、学校運営の面でよい点と課題があります。</p> <p>児童生徒の社会性や個の能力をより伸ばすためには、ある程度の規模が必要であるとと考えています。</p>
<p>生徒数の減少が著しい現状からすると、統合は致し方ないことと考える。それは統合することにより、児童・生徒に今より十分な教育の権利を施行してあげることができるであろうと期待するからだ。しかし、提示されたプログラムは、次の点について再考していただきたい。まず第1には、通学距離・時間による児童生徒への負担、親や家族に対する負担が大であること。十分な睡眠時間や休息、親子の対話の時間も確保できなくなることも考えられる。土日の活動のことを考えると親の送迎が必要にもなる。このように考えると、久留里や小櫃までの統合を再検討してほしいと考える。特に小学校低学年の児童の毎日を考えると、いたたまれない。</p>	<p>子どもたちの発達段階、通学、教育活動など総合的に勘案し、小学校は地域に残すこととしました。また、中学校は少し大きな規模において、多様な教育活動を可能にすることを考えました。</p> <p>学区が広域になることについては、スクールバスの運用を工夫し、改善を図っていきたいと思います。</p>
<p>毎日の事なので、登校（遠くて）するのが、大変だと思う。親が（毎日）送迎するのは大変だと思う。なので、今のままで良い。</p>	
<p>統合について賛成だ。生徒の活性化競争力、部活の種類が増える為。ただし、不安な事は学校が遠くなる為、登下校の送迎についてははっきりしてほしい。久留里・松丘・亀山ごとに便を分ける、部活動（土日も含め）にもバスを出してほしい。バスを一本化してしまうと、1時間近く移動に時間がかかってしまい、自宅での勉強、家族との時間がなくなってしまう為。</p>	
<p>小櫃・上総地区の中学校はたくましく切磋できる力を身につけさせるために、4校の中間となる地点を検討・交渉し、統合する中学校を数年後には設立することを切に望む。ただし、亀山中と松丘中については、生徒の活動上早急な統合を考えていくことが必要だ。できたら、久留里中と小櫃中の統合も進めていってほしいが。統合の中学校敷地が、4校の中間地点として確保できないならば、久留里小中の跡地を利用し、整地して、今の高台の傾斜地を平地化し、未来の上総、小櫃の子として成長し、将来を担っていけるように自信を持って生活できる環境でスタートさせてほしい。</p>	<p>社会の形成者としての基礎的な資質を養うという学校教育の目標を達成するために、一定規模の集団の確保が必要であると考えます。</p> <p>使用校舎については、既存施設の有効活用を基本としています。</p>
<p>私は蔵玉小で少ない人数で過ごした。中学校も亀山中で十数人という少ない人数であった。だから、たくさんの仲間がいる学校をうらやましく思っていた。しかし、高校にいき、多くの同級生がいる中で生活するようになると、仲間関係で悩んだりして学校に行きづらくなる人もできた。少人数だとそれぞれの人の良いところも、性格もわかるし、先生にも相談ができて過ごせる。部活もある中学生なら小櫃までなど、（本人も家族も）大変でとても通えない。</p>	<p>高校や社会に出たときに、子どもたちが充実した生活を過ごせるよう、発達段階を考慮することといたしました。</p> <p>小学校は適正規模を満たしませんが、それぞれの地域に残し、中学校は、少し大きな集団にすることで、段階的に規模を大きくすることで、発達段階に応じた社会性を育みたいと考えます。</p>
<p>上総・小櫃地区の統合について、教育活動の充実や子どもの成長等を考えると、統合することは大いに賛成だ。もっと早く取り組んでほしかったと思う。</p>	

<p>君津市の将来を背負ってほしい子どもたちにとって何がよいのか考える、実にいい機会になっている。目指す目的は市も地域も保護者も同じだと感じている。意見として、統合はやむをえないと思う。4校統合で、校舎は最も端にもっていくとは余りにも酷い原案。</p>	<p>未来を担う子どもたちのために、学校・保護者・地域とともに取り組んでまいります。</p>
<p>学校再編、いつかやらねばならなかったことだったと感じる。複式解消・単学級解消・幼保一元・小中一貫どれも明確な理由と成果があるのはよくわかる。標準的な規模を維持することで、安定した将来への見通しと、広がりのある教育活動が可能になる。それは一方では、「特色ある学校の特色がうすれる」「通学の距離と方法に負担が出てくる」「地域のコミュニティの場がなくなる」そして、児童生徒の心理的な不安定さも出てくるでしょう。それらの課題に対して、複数の学校の特色をどう残すのか、通学の方法をどう整備するのか、コミュニティの場としての人のつながりをどう作るのか、それを各中学校区の方々と市行政との話し合いで1つ1つのりこえていかねばならないと感じる。 今回対象校となった学校の教職員、児童生徒はもとよりPTA地域の方々が、相互に交流し合い、それぞれの実務や考えをのべあい、bestではないにしろbetterな再編を進めたい。</p>	<p>要請に応じて、地区説明会以外においても意見交換を実施しています。</p>
<p>もっと、地域の方々の意見を細かく聴いて、十分納得してからにしてほしい。</p> <p>人数を主に考えた統合、配置は必要かと思うが、地域性を考えた部分も重視してほしい。君津市全体での取り組みかもしれないが、この広い中で市街の考え方と、清和など地域とのつながりの大きい地区での学校に対する必要性は違う。教育の方面だけでなく、地域社会の中での学校を考えてほしい。</p>	<p>教育環境の充実を目指しているものですが、学校が地域の核として存在してきたことから、地域の実情にも配慮して、本プログラムを作成しました。</p>
<p>今回の説明会では、市の方向性が「第1次プログラム実施計画（案）として示されたことは良かったと思う。賛否両論があつてしかるべきだと考えるからだ。意見としては、1点目は、反対者の意見を尊重しプログラム（案）を変更すること。清和小・中の統合（案）の変更、坂畑小、松丘小、久留里小の統合は見直しすること。上総・小櫃中4中学校の統合は白紙に戻し、見直すこと。2点目、拙速すぎるプログラム（案）のため、実施時期を少し先延ばしすること。</p>	<p>この学校再編は、平成25年度より庁内での協議を始めました。そして、昨年度には基本方針、基本計画を案の段階からお示しし、多くのご意見もいただいております。 今回のプログラムは、その基本計画に則り作成したものであり、これまでいただいた有識者会議からの提言や市議会での議論、3回にわたる地区説明会やパブリックコメントにおけるご意見やご要望、今後の児童生徒数の推移などを踏まえ、総合的に判断した上で決定したいと考えています。</p>
<p>学校の統合については反対である。学校は地域の核であり、防災施設としても必要であるとする。</p>	<p>学校施設は、市民にとって貴重な財産であると認識しております。また、地域の防災拠点としても耐震化を進めてきたところです。 地域の防災拠点として、再編後も引き続き活用できるよう、関係各所と連携して取り組んでまいります。</p>
<p>そもそも少人数学校は子どもにとって良くないことなのか。学力や犯罪を起こす資質など大人数学校の方が良いという調査データがあるのか。今まで少人数学校で育ってきた方たちから声が上がったのか。</p>	<p>これまで小規模の学校も、教育活動を工夫し、少人数のよさを生かしながら、子どもたちを育ててきたことは十分認識しております。 学力については、いろいろな研究データがありますが、学力についての観点も様々であり、データの結果が、学校教育によるものか、教師の指導力によるものか、家庭の教育力によるものかについて、定かではありません。 あまりにも小規模化することで、男女比のバランスが悪かったり、活動に制限が生じたりすることなどが、課題だと考えております。</p>

<p>久留里中学校や小櫃中学校の校舎は、我々世代が中学生の時に使用していたと聞いている。耐震化工事は早くから行われたり補修しているとはいえ、古い。新しく発足する小学校や中学校の児童生徒を、見た目以上に老朽化の進んでいるであろう校舎に入れるのはいかがか。何年後かに建て直す必要が出てくるのではないか。長期的な視点を持って、久留里に小中一貫校で新しい校地に校舎を新築すると思う。</p>	<p>校舎の建て替えについては、いずれ必要になる時期が来ることは視野に入れておりますが、現在は既存施設を有効活用したいと考えています。</p>
<p>小糸中と清和中との統合はしなくていいと思う。統合によって今までたいして目立たない子も選手として選ばれ、数々の成績を残すことができたのに、大きくなり人数も増えれば、部活動にしてもずっと補欠のままになってしまう。</p>	<p>子どもたちのよりよい成長のためには、個々に活躍の機会が提供されることも大切だと考えます。また、一方で学校教育の中では、認め合うことのできる集団の中で、もまれたり、つまづいたりする経験も必要であると考えます。部活動においては、試合に出て活躍することと同じく、試合に出ていない子も、同じチームとして存在することで、互いを思いやる心も育成されると考えます。</p>
<p>松丘、亀山の統合は、亀中、坂小の校舎は新しく、小中一貫校で使用したらどうか。</p>	<p>小中一貫教育にも、よい面と課題があります。課題としては、9カ年の人間関係が固定化されるという点があり、現状の規模では効果よりも課題が大きくなる可能性があります。</p>
<p>各会場の説明会での質疑の内容の開示を求めたい。内容を見て知って考えることで理解が進むのかと考える。</p>	<p>現在、公表に向け準備しています。</p>
<p>子どもたちの意見は聴いているのか。</p>	<p>この再編計画については、幅広い経験や知識をもとに大局的に判断しなければならぬものと考えます。児童生徒の発達段階もありますので、中学校合同生徒会にて、子どもたちの声も伺いました。</p> <p>※合同生徒会の意見は別にあります。</p>
<p>はじめに思った事は、何故新聞に載せる前に地区での説明会を開催出来なかったのかという事です。この事は、住民の皆様の反感を抱く一つの原因となってしまった。</p>	<p>市民全員に同時期に案を周知することを考えました。また、報道後すぐに説明会を行ったところです。</p>
<p>地域づくり、地域の活性化という視点で考えると、統合した学校は、より地域住民の参画、地域とともに生きる学校であってほしいと思う。4つの地域の特色を生かした学校づくりが求められると思う。例えば、学期1回、各地域のコミュニティセンターに登校して、ふるさとの学習をしたりするような内容も可能ではないか。指導者は全て地域の方々が指導する。コミュニティスクールの指定にはなっていないけど、いち早く、地域と共に生きる学校づくりを進めてほしいと思う。</p>	<p>統合した学校では、新たな地域の核となるよう、また、これまでの地域文化の継承にも取り組んでまいります。今後の教育課程編成において、参考とさせていただきます。</p>
<p>スクールバスは防犯面からも期待しているが、乗車時間の短縮や急病の時の対応などはしっかり考えてほしい。</p>	<p>スクールバスは連れ去りなどの防犯面から効果も期待されます。一方、時間や様々な場合の対応などを想定し、統合準備室での意見も踏まえ対応していきます。</p>
<p>統合となった場合、本当に新しい学校としてスタートできるのか。規模の小さい学校の子どもが肩身の狭い思いをしてしまうのではないか。また、統合年度が重なっている学校もあり、準備室の運営など、市は丁寧な対応ができるのか。</p>	<p>今回の統合は、「活力のあるうちに」「対等の立場で」ということを、基本としています。それぞれの地域で統合準備室を立ち上げ、統合に向けて学校・保護者・地域の方々とともに、子どもたちのために行っていきたいと考えています。</p>

設置場所に関すること

意見の概要	市の見解
<p>上総3小学校の場合、通学時間の負担から学区の中心に近いところに新しい学校を用意する（松丘小の活用も考えられたい）ことについて再考されたい。現行案については反対である。</p>	<p>新校舎の建設については、基本計画にあるように、耐震化を実施してきた校舎の有効活用を前提としております。</p>
<p>上総地区の統合については、中間の距離の松丘などに建てる等はできないのか。</p>	
<p>中小と小糸小の統合について、安全面、環境面等々から、使用校舎は小糸小がよいと考える。（5年後、10年度を見通した場合、清和地区との統合を考えると）</p>	<p>設置場所については、教室数、施設の状態（築年数）、バスの進入、教育活動の面など、総合的に判断をしたものです。</p> <p>通学の距離や時間については、スクールバスの運行を工夫することにより、改善を図ってまいります。</p>
<p>学校再編には、基本的には賛成であるが、小学校は久留里、中学校は小櫃の案には反対である。その理由として、学校までの距離が長すぎる事。学校を中心とした半径10km以内車で30分以内が望ましい。</p>	
<p>上総地区の小学校については、地域の間である松丘を活用するのがよい。</p>	
<p>上総地区の小学校は、坂畑が通学路的に良いと思う。松丘、久留里は道路も狭いし不便だと思う。</p>	
<p>上総地区の中学校について、使用校舎小櫃中学校は遠く反対である。あまりにも、亀山・松丘地区から距離があり、負担が大きすぎるからというのが一番の理由である。</p>	
<p>小櫃、上総地区の中学校4校の統合について、何故、使用校舎が小櫃中なのか。同じ中学生であるのに、小櫃中の生徒と、一番遠くなる亀山中の生徒との負担の差が大きすぎるのではないか。</p>	
<p>上総地区の学校を統合した場合、学校の所在地が一番の問題だ。どこに学校があるかによって、父母の負担、生徒の負担が大きく変わってくるからである。亀山に住むものとしては、小学校は松丘、中学校も松丘、小中同じ場所が良いと思う。</p>	
<p>上総地区の小学校については、久留里小の校舎と運動場を使用してほしい。小学校では思いっきり外遊びをさせたいと考える。中学校の校舎からは運動場を見渡すことはできない。また、中学校運動場には遊具がない。耐震面のみならず、総合的な安全面の配慮をお願いしたい。さらに、現時点での環境を見極めて、今後どのような整備が必要となってくるかも試算してほしい。</p>	<p>子どもたちの教育活動と施設状況を検討し、総合的に判断をしております。その際には、必要な整備について試算も行います。</p>
<p>亀山中学校の新しい校舎を使わないのはもったいない。</p>	<p>学校施設は、市民にとって貴重な財産であり、有効に活用しなければならないと考えております。</p> <p>統合準備室において、地域の方々のご意見も伺いながら、地域の活性化に資する利活用を考えていきます。</p>

通学・スクールバス

意見の概要	市の見解
<p>スクールバスは無償であるべき、不安を解消する対応をみえるようにしていただきたい。</p> <p>スクールバスの導入は保護者として、とてもありがたく思う。</p> <p>通学の足の確保は重要で、親にとっては通学による家計費負担増が問題である。負担増となればその程度を明示すべきである。</p>	<p>保護者の負担を最小限とすることを考えていますが、統合準備室で皆さんと考えてまいります。</p>
<p>P T A活動で中小に行くことがありましたが、道路が狭いので、道路環境の改善をしていただきたい。</p>	
<p>スクールバスの運行は実際に生徒に合わせて可能か。</p> <p>是非きめ細やかな運行を考えてほしい。香木原小が坂畑小へ統合の時、香木原小の児童は民間バスのみの通学方法でしかなかったので、児童達は1～2時間も校庭で時間潰しをしていたようだ。</p> <p>スクールバスの運行を充分考え、多岐に渡る通学者の負担の軽減を図ってほしい。</p> <p>過疎化が進み、車社会があたりまえとなった現在、スクールバスの手配は必須であるが、一部の人達が個人の考えで送迎をしてしまうとスクールバスに乗る人もいなくなってしまうと思う。先々のことを考え、そのような事もないよう、バス等の運行時間も部活動に合うような学校の体制づくりが必要ではないか。</p> <p>中学校になると、部活、駅伝、陸上等、色々活動範囲が広がり、朝練習、午後練習、そして夏期休み中の活動となると、今まで亀山の中での送迎可能が、小櫃地区まで広がるとなると、果たして学校で予定されている事に対して、送迎を含め出来るのだろうか？</p> <p>バスの運行については、バスの方向にあわせて3台とか分けて送り迎えをしてくれるのか？低学年、中学年、高学年、中学生の帰りの時間差にバスが細かく対応してくれるのか？中学生の朝練習等にもスクールバスは対応してくれるのか。</p>	<p>子どもの安全確保は第一に考えており、状況に応じて環境を整えることも考えてまいります。</p> <p>児童生徒の安全面、教育活動の充実を第一に考えてまいります。教育課程にも関わってくる内容ですので、統合準備室にて、学校・保護者等の意見も踏まえて検討します。</p>
<p>通学手段としてスクールバスを走らせるだけで解決にはならない。子どもの精神面、また、親達の気苦労も大きな重荷となる。「長時間通学では脳が活性化せず、学習に入るに当たり体を動かす時間を設ける工夫も必要」と東大教授も言っておられます。大変通学距離が長いことに不安である。</p>	
<p>スクールバスは駅からの方が良いと思う。久留里線を少しでも活かした方が良い。</p>	<p>通学時間については、バスの運用方法を工夫し、改善を図ってまいります。また、運動不足の面などについては、教育課程にも関わるものなので、学校と協議して、取り組みます。</p> <p>通学手段として久留里線の利用も視野に入れ、住所をもとに調査をしましたが、利用者は限定的であると見込まれます。しかしながら、地域の活性化は必要なので、JRの活用についても地域の方と一緒に考えてまいります。</p>
<p>スクールバスは、弾力的に許可してほしい。徒歩通学者の中で、一番の遠距離である。ぜひとも、地域の様子を丹念に調べてスクールバスの路線や停留所を決定してほしい。そして、保護者に利用希望の有無を聞いてほしい。</p> <p>付近には小学生が1人しかいないので、スクールバスの停留所を自宅近くにしていただけたらありがたい。</p> <p>スクールバス導入にあたり、十分な予算を計上し、臨機応変な対応が可能で、子どもたち及び保護者にとり使い勝手の良い運行形態を構築して欲しい。</p> <p>児童生徒の通学についての条件がどのように考慮されていくのか心配だ。交通手段の確保に地元住民の意見も取り入れてほしい。</p>	<p>利用者数や道路状況等については調査を進めているところです。しかし、実際の運用については、統合準備室にて、学校・保護者・地域関係者の意見も伺いながら、子どもたちにとって安全で利用しやすいものとしていきたいと考えます。また、年度ごとに利用者も変化してくるので、適宜見直ししていくことも必要と考えております。</p>

特色ある教育

意見の概要	市の見解
<p>文科省の2015年版「コミュニティ・スクール 地域とともにある学校づくりのために」という冊子(pdf)を拝見すると、プログラム案に示されている魅力や成果を感じるには程遠い気がする。また、熟議というものができそうな素地もまだまだ出来上がっているとは言い難い状態だ。</p> <p>この制度が効果を発揮するためには、委員の任期をあまり短くしないこと(最低2年くらいと思われる)、実のある研修や協議を行うため、できれば月1回くらいのペースで集まること、核になる人間(おそらく校長先生が一番キーマンになると思います)がスタート時から目的や内容をきちんと理解していることが大切だと思われる。</p> <p>そのほかに、コミュニティ・スクールに関わる既存の活動団体が発展継続していくためにフォローやアドバイスをすることも重要だと思う。その任を担えるのは公民館だと考える。</p>	<p>コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校」を目指す第一歩と捉えております。</p> <p>全国でも、県でもまだ取り組みの事例は少ないので、現在の状況からどのような取り組みが可能であるか、調査研究を進めていきます。</p> <p>そのために、学校だけでなく、市教育委員会、公民館、地域関係団体と連携し、取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見を参考に、進めてまいります。</p>
<p>コミュニティ・スクールは学校・地域の為のものであり、是非、子どもたちにも地域の主権者の一員としても活動していただきたい。</p> <p>「学校運営協議会」のメンバーは、地域のこと子どものことを真剣に考えている方を選ぶために公募も良いかと思う。</p> <p>コミュニティ・スクールについての学習やメンバーの選考、方針・体制・運営についての熟議をする為に、平成30年度の実施は急ぎすぎではないのか。</p> <p>「学校運営協議会」を作ることで終わらず、その後の運営・活動についてもモデル校となるべく、教育委員会の支援が必要だと思う。</p>	
<p>〔特色ある学校づくり〕は、学力アップにつながる小中一貫教育は大賛成である。周南で試験的にはじめて、ほかの学校にも広めていくということなのでいいやり方だと思う。これを山間地域にもお願いしたい。</p> <p>なぜ小中一貫校にするのかという視点を学校も地域も共有することが重要だ。プログラム案の「小・中学校が共通の『目指す児童生徒像』や『教育目標』を設定します」を前面に出すのではなく、個々の子どもに合わせた教育を9年間保障するために、情報共有の手段として一貫校を進めるという方向で考えていただきたい。</p>	<p>小中一貫教育は、先進事例では学力向上にも成果が見られるとのこと。周南小中での取り組みをもとに、その成果や課題を整理し、市内の他の学校へ広めていきたいと考えています。</p> <p>また、個々の子どもの能力を伸ばす視点は重要であり、一貫教育においてどのような取り組みができるか、考えてまいります。</p>
<p>統合にあたり、小中一貫校を目指して欲しい。また、小中一貫校を目指すことが難しいのであれば、学習面・学校生活面において特別なプログラムを実施し、部活動面には専門性の高い教職員の配置をするなど、今以上に特色ある学校を目指して欲しい。</p>	<p>小中一貫教育は9カ年の連続した学びによる効果もありますが、一方で、人間関係の固定化という課題もあります。</p> <p>学校規模と一貫教育とは、別に分けて考える必要があると捉えています。</p>
<p>インクルーシブ教育は全ての地域に広がるべきものとして考えたいと思う。有識者会議録で、特別支援学校では児童生徒数が増え施設も不足し特別教室をつぶしているとのことである。この課題は後回しにしないほうが良いので、各地区の教育環境を考えるときには、常にインクルーシブ教育を考慮しつつ、進めるべきだと思う。</p>	<p>インクルーシブ教育システムは、全ての学校で現在も行っているところです。</p> <p>今回の計画では、特別支援学校や他の学校との交流や連携を図り、一歩進めた形で考えております。</p>

幼児教育・保育に関すること

意見の概要	市の見解
<p>幼児教育・保育については、周西幼稚園だけの融合にとどまらず市内全域に適用してはどうか。</p> <p>〔幼児教育・保育〕については、幼稚園と保育園がいっしょになった認定子ども園、とても素晴らしいと思う。山間地域にもぜひ作ってほしい。</p>	<p>認定こども園は、市内で初めての試みとなります。幼稚園と保育園の融合を図るとともに、行政のシステム作りも必要となります。</p> <p>今後については、この取り組みをもとに成果と課題を整理してまいります。</p>

児童生徒への配慮に関すること

意見の概要	市の見解
<p>中学校の統合は、思春期の子どもたちへ配慮し、不登校やいじめが地域差によって起きないように、幼少期からの交流等、ソフトランディングを求めたい。</p> <p>統合による子どもたちの心のケアの面からも、学習指導の面からも、担任だけでは負担が大きいと思う。学年づきの職員を配置し、より多くの教諭で子どもたちを見守っていく配置をしてもらいたい。</p> <p>生徒一人一人をしっかり見てほしい。統合により登校拒否などにならないような配慮はお願いしたい。</p> <p>統合により、子どもたちが不安にならないように、少しずつ他学校とのコミュニケーションを図り、統合するまでに、細かく配慮してほしい。</p>	<p>子どもたちが新たな学校生活を、円滑に過ごせるようにしたいと考えております。</p> <p>事前の交流を通じた関係作りや、スクールカウンセラーや養護教諭などによる教育相談の体制作りなど、配慮してまいります。</p> <p>また、人的支援については、県へも働きかけを行います。</p>
<p>統合される側の子どもたちが、肩身の狭い思いをしない様、学校生活面での指導上、配慮をして欲しい。</p>	<p>今回の統合は、「活力あるうちに」「対等の立場で」行うもので、吸収合併するものではありません。少人数の子どもたちが、充実した学校生活を過ごすことができるよう、学校と連携して取り組んでまいります。</p>

跡施設に関すること

意見の概要	市の見解
<p>空いた校舎の利用方法については、学校は地域においては文化であり、住民の拠点である。その基本的な考えがあれば説明を望む。</p> <p>空いた施設の活用はどうするのか。今まで、地域住民の意向を受け実施するということで、長期実行出来ず校舎の老朽化の現実を見てきた。地域の皆が使用できる物もぜひ考えて検討が必要である。</p> <p>地域から学校が無くなる事は、地域振興上はマイナスに作用することが予想される為、跡地利用等の振興策を検討して欲しい。</p>	<p>学校施設は、市民にとって貴重な財産であり、有効に活用しなければならないと考えています。</p> <p>統合準備室において、地域の方々のご意見も伺いながら、地域振興に資する活用方法を考えていきたいと思います。</p>
<p>跡地の活用について、上総地区ではすでに香木原、福野、蔵玉と3ヶ所となっているが、どのようになっているのか。</p>	<p>使用されていない校舎は、市の財産として管理しており、蔵玉小はNPO団体により活用されています。</p>

第2次実施プログラムに関すること

意見の概要	市の見解
<p>貞元小について、今回、統合対象外という事であったが、現在の貞元小は児童数が増え教室が不足していると思う。対象外の学校も早めに編成案を出してほしい。</p> <p>〔適正規模・適正配置〕についてですが、都市部でも子どもがかなり減っているという説明があったが、子どもが減れば統廃合は当たり前だし、山間地域ばかりでなく都市部でもきちんと進めて欲しいと思う。</p> <p>外箕輪小学校も児童の推移をみれば減少となり、八重原小学校から分離した経緯もあり、再度統合したらどうか。</p> <p>通学区を見直して、生徒数を増加させるという考えはあるのか。</p> <p>通学区の見直しの件だが、登校の見守りボランティアとして大和田小学校に毎朝行っているが、学校に着くまでに周西小学校の児童、坂田小学校の児童と会う。これらのねじれの様な問題は、大・小問わずどの学区にもあると思われるので、見直しを行う際は、地元精通した人達の協力のもと進め解決してほしい。統廃合も大事であるが、この問題の方が先に進める事の方が大事だと思う。</p> <p>外箕輪小はバリアフリーなので通学させている、また、サテライト教室があるので通学させている、という子どもさんがいるが、統合の場合、その点をどうするのか。</p>	<p>基本計画では、全ての学校が適正規模を満たすことを目指しています。</p> <p>第1次実施プログラムでは、複式の解消が急がれる中山間地域を中心に進めることとしました。</p> <p>しかし、少子化の傾向は市街地でも現れており、適正規模を満たしていない学校は存在しています。</p> <p>第2次プログラムでは、分離開校した学校の再編や、通学区の見直しを行ななど、今後も学校の再編を進める必要があると捉えております。</p>
<p>小中一貫校に行きたいという生徒がたくさんいた場合はどうするのか。</p>	<p>子どもたちの状況により、個別に対応を図ってまいります。</p> <p>基本的には、学区の選択制は考えておりません。</p> <p>特色ある教育内容も、拠点校を中心に取り組み、その成果を広め、よい面は市内の学校で取り入れて、どの学校の質も向上させていきたいと考えます。</p>

その他

意見の概要	市の見解
三島小と秋元小では、現在、家庭学習と通学合宿があり、この2点はとてもいいことだと思っているので残してほしい。	統合準備室にて、新しい教育課程を編成する際に、検討してまいります。
正式決定は、どのようなプロセスで決定ということになるのか。	今後、基本計画に基づいて、これまでの地区説明会、保護者アンケート、パブリックコメントなどを総合的に勘案し、判断してまいります。
市民の理解を得てからの計画実施ということだが、どのような形で理解が得られたと考えるのか。明快な材料を持ってから進めてほしい。	これまでも賛成、反対など両方の意見をいただいております。同じ地域でも、100%の理解を得ることは難しいと捉えております。 丁寧に説明を行ってまいります。どこかの時点で行政として判断しなければならないと考えております。
折角、校舎の耐震化工事が完了するというのに、学校の再編は政策が相反していると言わざるを得ない。市は耐震化された教育財産を廃して、地元管理運営の施設として、転用するのではないのか。	本来であれば、再編計画に則り耐震工事を計画することが理想であると考えております。 一方で、学校は地域の防災拠点ともなることから、校舎の耐震化は必要であったとも考えております。 市民にとって貴重な財産でありますので、地域振興に資する利活用を考えてまいります。
準備室の運営に携わる方々の中に、現職教諭を入れ対象校の様子（学習面、運動面、生活面）を分析しながら、よりよい教育に向けたプラン作りをしてほしい。地域の方のみならず、上総地区在住の退職教員や3校のうちいずれかに勤務経験のある現職教諭などを中心とした構成をすれば、3校の昔と今や地域文化学習の現状もつかみやすいと思う。そして、統合に向けた学習面、運動面、生活面の情報の共有と、学習指導の一貫性を大事にして、各学校での指導をしてほしい。そして、子どもたちが目を輝かせるようなプランの素地を作りあげてほしい。そうすれば、子どもたちは新しい学校に対して愛着をもち、地域の中で育ち、地域に根づく子になると思う。	これまでの教育や地域の文化を継承することも必要だと考えており、参考にさせていただきます。
準備委員会の立ち上げにあたり、各地域の意見を反映できる構成メンバーにして欲しい。	統合準備室は学校と行政が主体となって設置します。構成は、学校関係者、保護者、地域関係者、事務局を想定しています。
統合準備室の設置を早期に行い、できるだけ長い検討期間と深い内容になるようにしてほしい。	しっかりと受け入れ準備を行うため、プログラムの決定後すぐに準備室を設置してまいります。
清和中、小糸中統合するに当り、H29年度の交流はどの程度の交流をするのか。清和村時代の秋元中、三島中の統合時の第一期生に話を伺ったところ、清和中の第一期生は各旧校舎で1年間過ごし、卒業式だけは合同で実施したそう。この様なゆとりある期間を持てればベストと思う。受験等も控えた生徒にとってより良き選択を希望する。	授業、行事、部活動などの交流を考えております。また、お互いの地域を知ることから、一方向でなく双方向の交流も視野に入れていきます。
今後、PTA活動等にも支障が生じると感じた。	
現在小中でのPTA活動をしているのに、中学だけ先になくなってしまったら、最後の1年は小学校のみで運営になる。それは難しいと思う。小のみのPTAが難しいから小中でのPTAにしたのに、また更に人数が少ないのに分離させられるのは。	PTAの組織や活動内容についても、統合準備室にて統合前から考えていく必要があると認識しています。
クラス替えというが、学年何人以上で学級編成されるのか。25人以上いけばクラス替えしてほしい。	学級編成人数は、法律で定められており、その法律をもとに県では弾力的な学級編成を行っており、本市でもその基準に基づいております。
若年教員が増加している今、単学級では若年教員の負担が大きいと感じる。学年主任のもと数年間は勉強させ、教員の指導力向上も図る必要がある。また、昔のような講義式の授業なら人数であまり影響はないと思うが、これからはアクティブラーニングの時代である。子ども同士が磨き合える規模が必要である。	子どもたちを指導する教職員の指導力向上は非常に重要であると考えており、適正規模と密接に関連していると捉えています。

<p>各地域の特色を活かした学校作りを行い、君津市ならではの子どもたちの育成を、地域と連携して行える再編となるようにしてほしい。さらに、自然の中では学ばせたい等、学校毎のコンセプトで学校を選べる制度導入をしてほしい。</p>	<p>これまで学校で行ってきた教育や地域の文化も継承しつつ、市内全ての学校が、活力あふれる学校にしていきたいと考えています。 現在のところ、学校選択制度の導入は、考えておりません。 また、再編は関係各課と連携し、全庁で進めてまいります。</p>
<p>今回の再編に合わせて、市内全校の特色、コンセプトを見直して、幼児教育、保育、小学校、中学校教育がどうあるべきか、どうするのかを対象校だけでなく市全体でプログラムを進めてほしい。</p>	<p>（この欄は上記の回答と重複するため、内容は省略します）</p>
<p>スクールバスの活用として、コミュニティバスの案は賛成である。土日の部活動の為だけでなく、是非、平日の通学時間帯も増やしていただきたい。公共交通手段の整った地域から引っ越してきた人間にとって、君津のバスの本数は致命的である。電車に乗って通勤を考えた時、できれば君津を出たいなど切実に思った。我が家は主人の仕事の為にここに住んでいるだけで、特に君津にこだわる理由がない。そんな世帯をつなぎとめる手段としても、他部署と連携して頂きたい。</p>	<p>スクールバスは、子どもたちの通学手段を第1に考えていますが、地域の振興にも資する活用方法も検討してまいります。</p>
<p>現在学童保育に関わっているが、学童保育を利用したい方も多くいると思うので、安全に健やかに預かりできる広さの教室をぜひ設置していただきたいと思う。学童保育の進め方、方針を統合校の指導員と話し合わなければいけないと考えている。</p>	<p>現在の社会情勢、保護者の就労形態の変化により、学童保育が必要であることは認識しております。</p>
<p>学童保育は各地区とも対象児童の父母が、一部助成を受け運営していると思われる。この度の再編において、財源も今までよりは多く浮くと思う。是非、学童保育の運営についても公的な運営を望む。</p>	<p>関係部署とも連携し、統合準備室にて保護者の意見もいただきながら、検討してまいります。</p>
<p>共働き家庭の母親が多い事を考えると、バスで帰ってきて、両親が帰宅するまで、子どもだけになってしまう家庭への配慮も考えていかなければいけないことかと思う。もちろん、学童保育施設は全く別団体であることはわかっているが、早めに相方で対策を考えていただきたい。</p>	<p>（この欄は上記の回答と重複するため、内容は省略します）</p>
<p>改革にメリット・デメリットは両方ある。統合によるデメリットとして長距離通学（ロスタイムの発生）、家族の送り迎えの負担がある。解決策として寄宿舎制度復活（以前亀山地区にあった）、小櫃中周辺に寄宿舎を建設した場合は、市の負担増になるが、周辺の環境は非常に良い。診療所もある。家庭の負担増、経済負担、子どもを手放す負担などはある。最後は、それぞれのデメリットをどこまで譲れるか（エゴのぶつかり合いではダメ）だと感じる。</p>	<p>ご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>現在、グラウンド等の建物周辺施設の維持管理には、PTAはもちろん地域の方々に基づき管理されている。移転後のグラウンド等が荒廃した状況になることは避けていただきたく、市の予算計上により、草刈等定期的な維持管理を行って欲しい。</p>	<p>これまで地域の方々の方々の支援によって、学校環境が整備されていたことに対し、心より感謝申し上げます。 跡地の利活用については、地域振興に資する活用を考えてまいります。 また、それまでの管理方法については、今後検討してまいります。</p>
<p>地域住民に周知されているとは思えないので、最低限回覧板でも良いので、今回の再編計画を文書資料の形で周知してほしい。そしてすべての市民に意見を求める形をとってほしい。</p>	<p>自治会に加入していない方や地区説明会に参加できない方などいらっしゃいます。そのため、今回は情報を広く周知するため、記者発表を行いました。なお、地区説明会と同時にパブリックコメントを実施しております。</p>
<p>今回、住民の意見を聞くために、地区説明会、保護者へのアンケート、中学校合同生徒会、パブリックコメントと多くの機会を作っていたことに感謝する。ただし、参加しなかった地区説明会の住民の意見、中学校合同生徒会での生徒の意見は、有識者会議での資料に数件しか見ることが出来なかった。今回の実施プログラムへの意見を提出するには、特に統合や一貫校等の対象地区の住民の意見も必要であった。意見公募には市民協働の基本として情報開示をしていただきたい。</p>	<p>現在、取りまとめているところで、市のHPで公開の予定です。</p>